

2023年5月29日

京都府知事
西脇 隆俊様

京都府保険医協会
理事長 鈴木 卓

京都府における5類への位置付け変更に伴う医療体制についての 要請書

貴職におかれましては、平素より京都府民の医療保障の前進にご尽力賜りますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、私どもは去る2023年3月24日、「新型コロナウイルス感染症『5類』移行に関する要望」を提出し、医療へのアクセス保障の推進を強く要望させていただいたところです。

同要請書の内容と合わせ、この度、5月8日に5類への位置付け変更が実施されたことを受け、以下の点につきまして要請いたします。

今後の施策に反映いただきますよう、心よりお願いいたします。

記

- (1) 2020年の第1波以降の京都府の感染者数、死亡者数、高齢者施設等における死亡者数、入院率等のデータに基づき、専門家も参画する形で、新型コロナウイルス感染症対策に関する総括を行い、引き続くコロナ対策並びに新興感染症対策を進めるにあたっての改善点を明らかにし、その結果を京都府民に対して公表すること
- (2) 外来対応医療機関のみならず、幅広い医療機関において発熱患者を受け入れることができるよう、感染拡大時には必要に応じて公的発熱外来を設置し、自院では対応できない医療機関の医師も出務できるような仕組みを準備しておくこと
- (3) 医療機関間での調整が基本となる入院調整について、受入病院における空床状況がすべての外来医療機関においてリアルタイムで把握できるようにすること
- (4) 高齢者施設等における中等症Ⅱ・重症者の発生においても、入院先確保に向けた施設医等への支援を積極的に行うこと
- (5) 京都府が主催し、京都府内の全地区医師会・全病院を対象とした今後の受け入れ体制に関する意見を聴取し、行政に反映する機会を設けること

以上